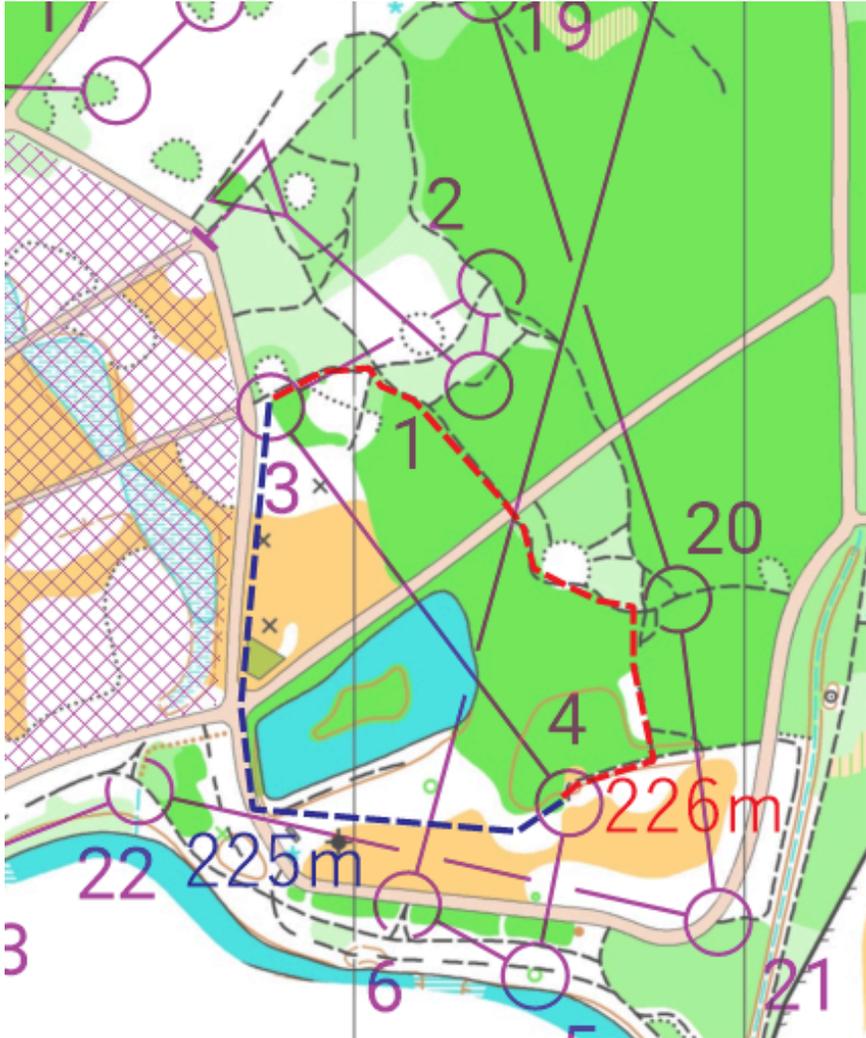


コース解説

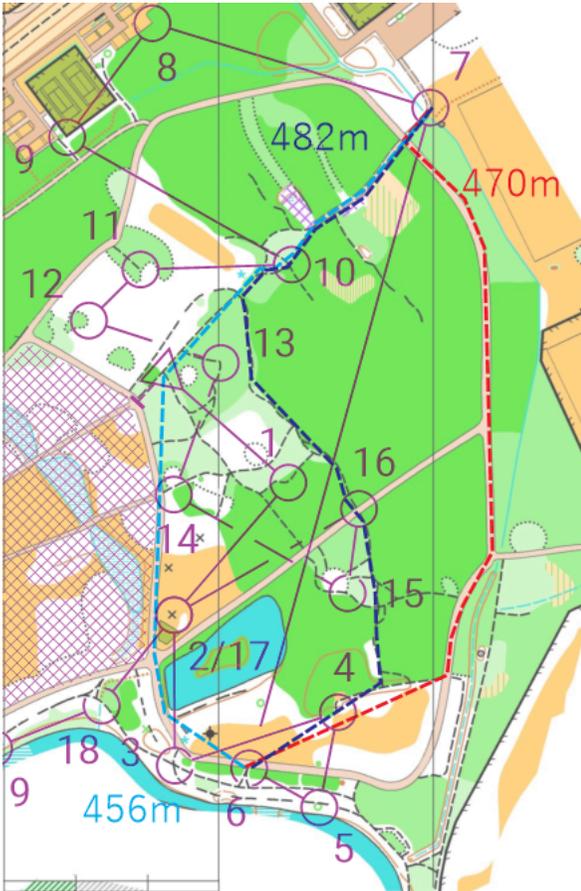
コースプランナー：浴本

Ms△ - 4



- スタートしてから、細かい小径を通らせるレグが連続し、先読みができていない状況と思われる。
- そういう状況の場合、たとえ一番距離の短いベストルートでなくても、あえてナビゲーション負荷の低いそのルートを選ぶことが考えられる。例えば、3-4は、赤ルートだと細かい小径を辿ることが求められるのに対して、青ルートは池をぐるっと巻くだけでよいため、相対的にナビゲーション負荷が低い。こうした場合、4ポ以降の先読みができるため、仮に距離が長いとしても青ルートを選ぶことも1つの手である。(今回はたまたま、青ルートのほうが短い)

Ms 6 → 7 / Ws 6 → 7



- 男女とも一番の勝負レグ
- レグ線の向きの的に、赤・青ルート方向へ脱出したくなるが、最短は水色
- 赤色は舗装路を爆走できるため、悪いルートではない。青ルートが大負け。レグ線に関して、S字カーブを描くルートはぱっと見レグ線に沿っているので距離が短そうだが、思った以上に距離が伸びるので、負けルートになりやすい。
- 水色を選んだ場合、14ポ・10ポのポストを確認しておくべし。

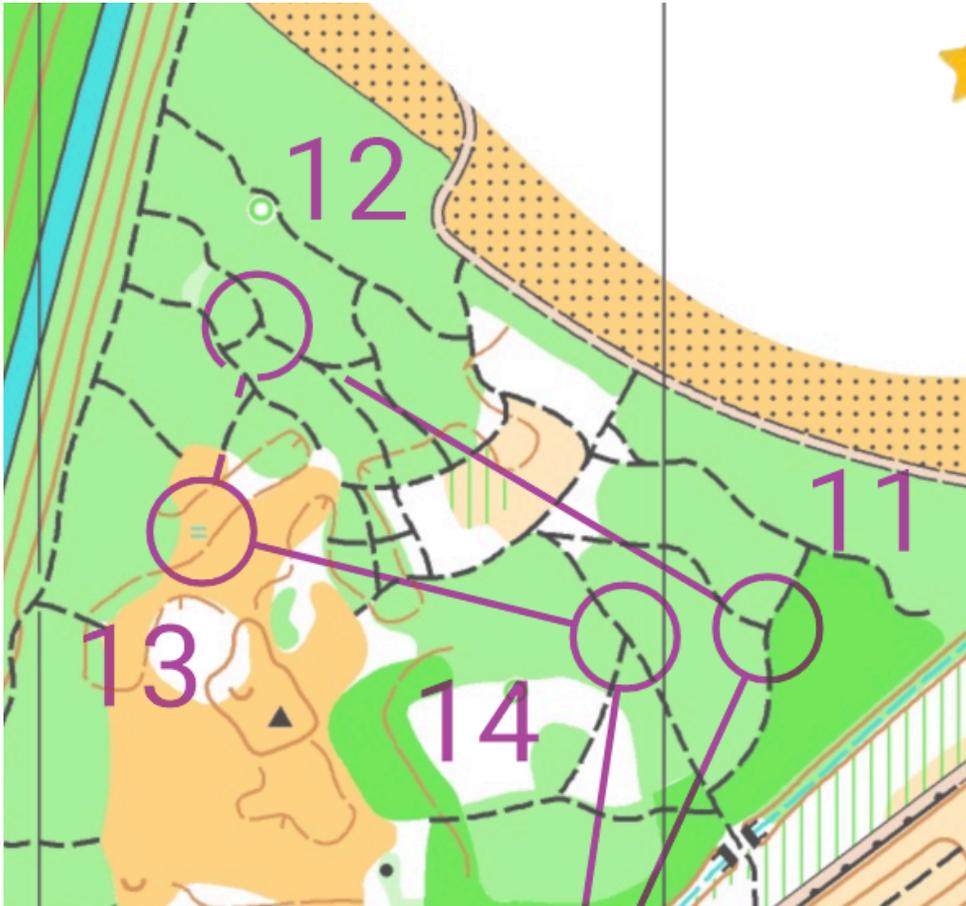
Ms 7 → 8 / Ws 7 → 8



- ぱっと見、赤と青がどっちが短いかわからないと思う
- そういう時は、①走りやすさ②どれだけスピードが落ちる地点があるか、を考える。①については、どちらも道を使うのであまり変わらず（強いて言えば、小径を使う分、水色ルートの方が遅い可能性あり）。②は、6-7の攻撃と8-9の脱出が黒矢印の向きに一意に定まるため、水色ルートだと、7ポと8ポでスピードを0にする必要がある。

⇒ゆえに、赤を選べる。

Ms11-14



- 細かい小径を辿る必要のある
レッグ
- 適当に行くと、自分がどの小
径を走っているか分からなくな
るので、少しスピードを落
としてもいいので、常にサム
リを心がける。

Ms 2 1 → 2 2

- 関東スプセレのトレインである「古河公方公園」は不整地が多く、遠くの目標物までまっすぐ進む課題を問うレグがあると思われる。
- テレイン内に、遠くからでも分かる特徴物がどれだけあるのか、その形はどのようなものなのか、セレ前にしっかりと予習しておく。
- そうすることで、21→22に関して、地図を見てすぐにこのエリアは鉄塔が遠くからでも目印になるからそれを使おうと判断することができる。(チェックポイントの設定時間に関して差が生まれる)



Ms 2 2 → 2 3 /

Ws 1 8 → 1 9

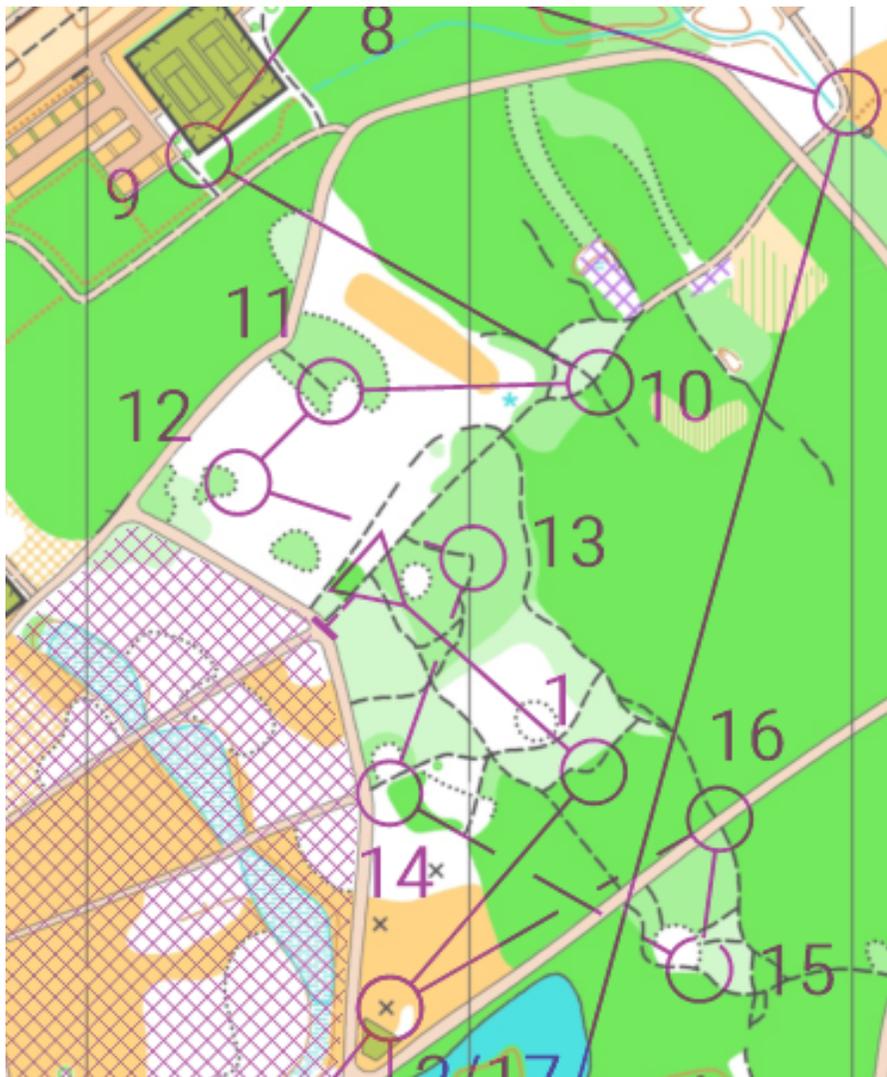


- このレッグがあった時、「左手の池に沿って行けばいいや」と思う人は多いだろう。だが、それだとしてどこまで進めばいいか（自分がどこまで進んだか）分からなくなりがちである。
- 一方、右手を見ると、23ポの近くに舗装路の分岐がある。分岐との相対位置で、大体23ポがどこにあるかが分かる。

⇒レッグ線の両側を確認して、目印になりやすいものを目印にすべし。

※関東スプセレのトレインである「古河公方公園」もトレイン内に池があるが、池に視野を囚われすぎることなく、チェックポイントを定めるべし。

Ws 9 → 16



- ショートレッグが連続するレッグ。スプセレでもコースの途中でこういうレッグは必ずある。
- こういう場合、飛ばしペナが起こりがちなので、ポスト番号下一桁は必ず意識する。（「次のポストの下一桁は〇番」と口ずさみながらレースするのも効果的）
- あとは、アタックするポストが見えたら、すぐさま視線を次の脱出方向へ移す。例えば、11→12を行っていて、12ポが見えたら、すぐさま13へと続く小径が見えないかそっちの方向を確認する。そうすることで、12ポに着いた時、スムーズな脱出を実行することができる。